

いじめの本質 演劇通じ訴え

生徒参加、解決探る

いじめや差別の問題を、演劇を通して解決しようという活動をしている英国の舞台ディレクター、アンドリュー・ヒクソンさん(写真)が、このほど初来日した。いじめ問題が深刻になっている



日本にもその解決方法を広めたいという狙いだ。二十五日午後七時から、名古屋市の熱田区の名古屋国際会議場で「演劇から学ぶいじめ予防法」と題した講演をし、実際に演劇の手法を披露する。

「こないじめがうちのひ演劇にしてほしい」
学校で起きているので、せ アンドリューさんは、英 国の学校からそんな依頼を を作り、その学校へいっ 受けると、すぐにシナリオ て、生徒も参加型の演劇を



英国の家 熱田区です披露

演劇を通じ「死」という言葉から想像する行動を生徒たちにさせて意味を問う。写真提供・アンドリュー・ヒクソンさん

する。いじめる側といじめられる側、その時の衝動、仲間意識——。「演劇」という空間に、感情移入させることで、その行為を落ち着いた目で見つめ、問題解決へつなげるという手法だ。
たとえば、一人の男の人と女の人で暴力を振るうシーンを見せ、次に観客の子どもたちに参加を呼びかける。そこにその子たちがいたらどうするのか。暴力というイメージから浮かぶ形を子どもたちにダンスやマ임(動作)で表現してもらおう。
マレーシアの熱帯雨林で暮らしたことがあるアンドリューさんは、ロンドンに戻った時、いじめや薬物、人種差別などの問題が悪化している状況を見て驚いた。そこでロンドン大学大問い合わせはブリティッシュカウンシル名古屋(〇五二一九六三三三六七)へ。
「子供たちには、言葉でいくら注意しても耳から抜けていくだけ。もっと心の奥に働きかけなければ」とアンドリューさん。日本の教育の現状を知り、日英合同でそうした演劇ができないかを模索するという。すでに東京で公演しており、大阪でも公演する予定だ。

中3に集団暴行

先輩ら7人逮捕・書類送検

尾張旭

愛知県警守山署は二十四日、尾張旭市内の定時制高校生の少年(さ)ら三人を傷害の疑いで逮捕、同市内の

中学三年生(ま)ら四人の少

多々衣子(り)日(り)

市内の中学三年生(ま)を取り囲み、近くの小学校内などで、暴行を加え、顔や腕、ひざなどに十一日間のけがを負わせた疑い。

同署によると、七人は、



米軍跡地に 六価クロム

嘉手納弾薬庫

沖縄県の米軍嘉手納弾薬庫のうち、今年三月に返還された跳谷村の土壌から、有害物質の六価クロムなどが検出されていたことが二十四日分かった。

村からの照会に対して、那覇防衛施設局が明らかにした。
嘉手納弾薬庫は同県嘉手納町や跳谷村などにまたがる約二千八百畝。弾薬類の貯蔵庫や貯油施設などがある。このうち、国道58号に接する約七十七畝が今年三月に返還された。一部にパイプラインやケーブルなど